

平成 31 年 度 事 業 計 画 書

平成 31 年 4 月 1 日 から 令和 2 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人Light Ring.

1 事業実施の方針

平成31年度は、東京都新宿区を主な活動場所として精神疾患の予防を目的とした若年層向けの傾聴プログラムと精神疾患の予防を促進するための講座、若者が身近な支え手としての知識や傾聴技術を身につけるためのソーシャルサポート力養成講座や身近な支え手が寄り添い支援を行う相手の変化について報告する会を展開する。加えて、区や民間団体との連携も視野に入れ、若者自殺うつ問題の実態分析および日本全国の若者自殺うつ予防対策を立案するための計画見直し及び事業改善に注力する。地方自治体からの講演や研修にも対応し、全国の若者の実態や実情理解に努める。

2 事業の実施に関する事項

| 事業名 | 事業内容 | 実施予定日時 | 実施予定場所 | 従事者の予定人数 | 受益対象者の範囲及び予定人数 | 事業費の予定額(千円) |
|---|--|---------------------------------|-------------------|----------|-------------------------------|-------------|
| 精神疾患の予防を目的とした社会体験活動（新宿・港区事業） | 区内に日常生活で悩みを受け止める同世代の身近な支え手を広めるため、10代~20代の若者向けのソーシャルサポート力養成および事例検討を行う事業 | 4月より年18回開催 | 新宿区、港区 | 10名 | 都内中高大専門学校学生の男女50人×18回 | 10,314 |
| 精神疾患の予防のために有用な機会の提供（講演会）（学生・教員・一般市民向け研修・啓発事業）（取材・執筆・会議出席） | 特に10代の学生や養護教諭および生活指導の教員、広く一般市民向けに、自殺うつの実態や予防の仕方、身近な人の支えの方法を伝える研修事業 | 4月より年12回開催 | 東京都、岩手県、栃木県、千葉県など | 3名 | 学生・教員・若年層自殺問題に興味のある男女100名×12回 | 7,735 |
| 精神疾患の予防のために有用な機会の提供（効果指標） | 若者自殺うつ予防事業に参加する若者に心理指標を用いて効果測定を行い、支え手の特徴や変化を研究し学会や論文発表を行う事業 | 4月より新宿事業と同時間帯開催 国内学会年1回出席予定。 | 新宿区、港区、愛知県 | 2名 | 都内中高大専門学校学生の男女学会参加者50人×18回 | 2,578 |

(2) その他の事業

| 事業名 | 事業内容 | 実施予定日時 | 実施予定場所 | 従事者の予定人数 | 事業費の予定額(千円) |
|-----|------|--------|--------|----------|-------------|
| | | | | | |